

案件概要書

2013 年 12 月 24 日

国際協力機構東・中央アジア部中央アジア・コーカサス課

1. 案件名（国名）

国名： キルギス共和国

案件名： 道路維持管理機材メンテナンス機能強化計画（The Project for Improvement of Workshops for Road Maintenance Equipment）

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における道路セクターの開発実績（現状）と課題

キルギス共和国には約 34,000km の道路網が整備されており、国内の人・物の移動の 95%を道路交通に依存している。同国内の道路は国内の移動手段のみならず、中央アジア地域や周辺地域を結ぶ域内交通手段としても重要な役割を担っている。道路網の大部分は旧ソ連時代に建設された後、1991 年の独立後の経済の低迷などにより補修や維持管理が十分に行われず、損傷の拡大や劣化が進行している。我が国は運輸通信省（Ministry of Transport and Communications：MOTC）に対し、無償資金協力による道路維持管理機材の整備や技術協力による舗装の補修技術の移転等を実施し、道路維持管理能力強化を図ってきた。これまでに無償資金協力で整備された機材は適切に維持管理されているが、MOTC 保有の道路維持管理機材の約 75%は旧ソ連時代に整備後 20～30 年が経過し、耐用年数（平均 10 年程度）を大幅に超過していることから、簡易な工具では対応不可能な故障等が生じている。そうした機材は民間業者に修理を委託しているが、修理に長期間、多額の経費を要し、適時かつ効率的な道路維持管理の阻害要因となっている。

(2) 当該国における道路セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

キルギス政府の中期開発計画（2013-2017）では、重点分野の一つとして道路セクターが掲げられ、周辺地域と国内の市場へのアクセスの確保が開発戦略の方向性とされている。本事業はこの政策に合致するものであり、事業実施の必要性・妥当性は高い。

(3) 道路セクターに対する我が国の援助方針

対キルギス国別援助方針における重点分野として「運輸インフラ維持管理と地域間格差の是正」が定められており、本事業はこの方針に合致する。

【道路セクターに対する我が国の主な協力実績】

- ナリン州道路維持管理用機材整備計画（無償：2006）
- 道路維持管理能力向上プロジェクト（技協：2008-2011）
- イシククリ州・チュイ州道路維持管理機材整備計画（無償：2010）

(4) 他の援助機関の対応

アジア開発銀行、世界銀行などが道路整備に対する資金協力等を行っている。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

道路維持管理機材のメンテナンスに必要な機材を整備することにより、道路維持管理機材の修理の所要期間及び経費の削減を図ることで、適時かつ効率的な道路維持管理の実施に寄与することを目的とする。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

キルギス国内の 6 ヶ所の道路維持管理事務所

(3) 事業概要

(ア) 土木工事、調達機器等の内容

【調達機材】エンジン修理用機材、電気系統・バッテリー修理用機材、タイヤ・ブレーキ修理用機材等（調査により確認）

(イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：調査により確認

(ウ) 調達・施工方法：調査により確認。

(4) 事業実施体制

実施機関は運輸通信省（MOTC）、機材整備後は同省傘下の道路維持管理事務所が維持管理を行う。

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

(ア) 環境社会配慮

① カテゴリ分類： C

② カテゴリ分類の根拠： 本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010 年 4 月公布）」上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携： 我が国はこれまでバトケンを除く 6 州において道路維持管理機材を整備済み・整備予定。整備済みの機材は適切に活用、維持管理されていることを確認済み。調達後 6 年超が経過する機材もあり、今後修理の頻度が増加することが見込まれることから、本事業は、当該協力の事業効果の更なる向上に寄与するものである。

(7) その他特記事項： 特になし。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

キルギスの類似案件でスペアパーツ調達先情報の機材仕様書上の記載を MOTC が見落としたため調達手続きが滞り、機材を使用できない事例が散見された。

(2) 本事業への教訓

本事業においては、機材仕様書上のスペアパーツ調達先情報の記載の視認性確保、機材引渡し時の内容説明を徹底する。

以上

〔別添資料〕地図

Figure: Location map of 6 middle workshops

